

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公開番号】特開2018-4931(P2018-4931A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2016-131432(P2016-131432)

【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 3 B 41/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

B 2 3 B 39/08 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 2 3 B 41/00 Z

B 2 4 B 9/14 A

B 2 3 B 39/08

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月10日(2019.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズに穴を形成する穴あけ加工工具を備えた眼鏡レンズ加工装置であって、

前記レンズに形成する穴の位置を取得する穴位置取得手段と、

加工後の前記レンズが取り付けられた眼鏡を使用者が装用して正面を見た場合の、前記使用者の視軸と、前記レンズの光軸の鉛直面内の角度であるあおり角を取得するあおり角取得手段と、

前記レンズにおける前記穴の位置に穴を形成する際の、前記穴あけ加工工具と前記レンズの相対角度を、前記あおり角取得手段によって取得されたあおり角に基づいて決定する相対角度決定手段と、

を備えたことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項2】

請求項1に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、

前記あおり角取得手段は、作業者が操作部を操作することで指定されたあおり角を取得することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、

前記相対角度決定手段は、

加工される前記レンズの形状、または、リムレスフレームに取り付けられていたデモレンズの形状と、前記穴位置取得手段によって取得された前記穴の位置と、前記あおり角取得手段によって取得されたあおり角とに基づいて、前記相対角度を決定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項4】

請求項1から3のいずれかに記載の眼鏡レンズ加工装置であって、

加工後の前記レンズが取り付けられた眼鏡を使用者が装用して正面を見た場合の、前記使用者の視軸と、前記レンズの光軸の水平面内の角度であるそり角を取得するそり角取得手段と、

あおり角に応じて変動する前記レンズの乱視軸のずれを、あおり角およびそり角の値に基づいて補正する補正手段と、

をさらに備えたことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

**【請求項 5】**

レンズに穴を形成する穴あけ加工工具を備えた眼鏡レンズ加工装置において用いられる加工制御データを作成するために、データ作成装置によって実行される加工制御データ作成プログラムであって、

前記データ作成装置の制御部によって実行されることで、

前記レンズに形成する穴の位置を取得する穴位置取得ステップと、

加工後の前記レンズが取り付けられた眼鏡を使用者が装用して正面を見た場合の、前記使用者の視軸と、前記レンズの光軸の鉛直面内の角度であるあおり角を取得するあおり角取得ステップと、

前記レンズにおける前記穴の位置に穴を形成する際の、前記穴あけ加工工具と前記レンズの相対角度を、前記あおり角取得手段によって取得されたあおり角に基づいて決定する相対角度決定ステップと、

を前記データ作成装置に実行させることを特徴とする加工制御データ作成プログラム。